国民健康保険傷病手当金支給申請書(世帯主記入用)

被	被保険者証 記号番号	00000-0							主的	氏名 国保 太郎							
保险	(フリガナ)	コクホ ジロウ									•	073	∓ n				
保険者情報	氏 名		郎				生年	生年月日						1 日			
報	住 所	△△県	00ī	市口口]町1	丁目2番3号											
						銀行	D· 金	庫 ·	信組						本店	支	U.
	金融機関		国保				農協・漁協				ı	中身	Ę	出		本店	
	名称													ي .	本的 その他(・支	所)
						その他()			*	※ゆうちょ銀行の場合は、3桁の店番を記入							
振込先	預金別	普通・当座 その他()				口座番号				1	2	3	4	5	6	7	
				ク	ホ		シ	"		١.	ゥー						
	口座名義(カ	タカナ)					_			+	世紀	主帯	E以外	トの方	の口	座へ	
		※左詰めで記入してください。						」 点 半濁点は変わっての振込みを希望する					場合、				
			次在記	SW) CEC	, , C C	(/ : ~)) 闽 从、	十闽从	19.	fCU		受耴	又代理	人の	欄」	に記	_
上記のと	:おり申請しま	す。									入	・排	押印し	てく	ださ	い。	
令和2年	4月15日																
住	住 所 電話番号 012-3456-7890 ○○県△△市□□町1丁目2番3号																
世帯主氏	世帯主氏名 国保 太郎																
松戸市長																	

【受取代理人の欄】(世帯主以外の方が受領する場合は、記入が必要です。)

	本申請に基づく給付金に関する受領を下記の)代理人に委任します。 令	和 2 年 4 月 15 日
世帯主	氏名 国保 太郎 即 保	住所 同上	
代理人	〒123-4567 △△県○○市□□町1丁目2番3号		世帯主との関係
(口座名義人)	(フリガナ) コクホ ジロウ		
	氏名 国保 次郎	保保	子

保険者記入欄	支給決定額
	円

国民健康保険傷病手当金支給申請書(被保険者記入用)

被保険者氏名	国保 次郎
--------	-------

症状が出た日 令和2年3月10日					者•接触 への 相談した	相談日	•	_		令和2		10日 11日時	
	1	医療機関の受診状況	1. 5	を診した	>			2. 受	診して	いなし	١		
		受診した」と回答した場合) ②医療機関の受診日				令和	2	年	3 月	11	日		
			限		ŕ	令和	左	Ę.	F	1	日		
		記入してください。			ŕ	5和	左	Ę.	F	1	日		
── 欄内に書ききれない場合は、申請書 ── の裏面を使用してください。 (①で「受診していない」と回答した場合) ③症状(具体的に)					受診 PCR	、PCR 検査隙	検査 陰性と	陽性、 なり』	、入院 退院し	3.5度) たが、 2/31 <i>t</i>	3/30 ह		
③療養のため に 休んだ期間 令和2年3月30日まで								_	った日数 けがあり	数		10日	
				染が疑れ 予定がな				らない	木暇や勤			юд	
5	給与等のす	をのために休んだ期間に を払いを受けましたか。 後受けられますか。			1.	はし	Λ.		2.	いい	え		
6	与等の額と	⑤で「はい」と回答した場合、その給 与等の額と、その報酬支払の対象と		年	月	日から		T	Τ	<u> </u>	(給与	等の 	額:円)
	なった(なる	る)期間をご記入ください。	令和	年	月	日まで	<u> </u>				1		

(上記①において「受診していない」と回答した場合は、下記の事業主記載欄について、事業主の証明が必要です。)

						令和		2	年	4	月	5	日
車	上訂	上記③~⑥の内容については、当事業所において把握している内容と相違ないことを証明します。											す。
業主	事	事業所所在地		▲▲県●●市■■町1丁目2番3号									
記 入 欄	事 業 主 主 記 入 欄 事業所在地 事業所名称			(株)保険事業	受診の有無にかかわらず、事業主に記 入・押印してもらってください。						記		
	į	事業主氏名		事業 花子		事業即							
担当者氏名		事業 三郎		電話番号 123-456-7		7890)						

複数の事業主に雇用されていた場合、それぞ

国民健康保険傷病手当金支給申請書(事業主記入用)

労務に服することができなかった期間を含む賃金計算期間の勤務状況

	被保険者氏	名 国保 次郎		れの事 <u>業主</u> に	:書いてもら <u>う</u>	必要があります。	
	きなかった期間の属する	惑染症(発熱等の症状があり感染 る月における勤務状況 休暇の日数を× で表示してくだる -				左記の争田にる 無給休暇の日	
	令和2年3月	1 2 3 4 5 6 7 16 17 18 🔀 🔀 1 2 3 4 5 6 7 16 17 18 19 20 21	22 23 2 3	13 14 26 27 28 29 11 12 13 14 25 26 27 28 29	15 (3) 31 15 30 31	10	日
	②新型コロナウイルス感きなかった期間の属する 【出勤は〇】、【有給休暇 【その他の休暇(賃金が	賃金が生じた日数の計 (〇、△、= の計)					
	令和元年12月	1 ② ③ 4 5 6 7 16 17 18 19 <u>20</u> 21	8 9 10 2 23 24	11 (2) <u>1/3</u> 14 25 26 (7) (28) 29	15 30 31	10	日
	令和2年1月	1 2 3 4 5 $\stackrel{\frown}{6}$ 7 16 17 18 $\stackrel{\frown}{19}$ $\stackrel{\frown}{20}$ 21	_	11 12 (13) (4) 25) 26 27 28 29	15 30 31	8	日
	令和2年2月	1 2 3 4 5 6 7 17 18 9 20 21		12 (3) (4) 25 (26) 27 28 29	15 30 31	10	B
	令和2年3月	1 2 3 4 5 6 7 16 17 18 19 20 21	8 9 10 22 23 24	11 12 13 14 25 26 27 28 29	15 30 (1)	2	日
事業主	②の期間に対して、賃 金を支払いましたか?	給与の 種類 ☑	日給 口	-	支払日	15 1. 当月 2. 翌月 10	日日
が証明するところ	期間 区 基本 症状 一様のの賃金 大きなする。 大きなでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	対象となる賃金支給状況を記入してくたる。 対象期間開始日の直前給状況を記入してくた。	12月16 1月15日 (A)支給を (A)支給を りりの 第一年の (A)支給を (A) 支給を (A) 支 (A) (A) (A)	日 ~ ヨ 分 額(円) (1 0 0 0 0	1月16日 ~ 2月15日 分 B)支給額(円) 1000000 です。【記入何では する過去3かり 9の直前の締 1000000	2月16日 3月15日 (C)支給額 (D) 500 例では3/12まで】 は3/19から】 月分の勤務状況お日は3/15】	
		違ないことを証明します	-		令和	12年4月5	日
		也 ▲▲県●●市■Ⅰ	■町1丁目2	2番3号			
	事業所名称 事業主氏名		*	業间			
	担当者氏名	事業 三郎		電話番号	123	3-456-7890	

国民健康保険傷病手当金支給申請書(医療機関記入用)

	患者氏名	国保 次郎									
	傷病名	新型コロナウイル る呼吸器疾患(肺		初診日	令和 2	2 年 3 月 11 日					
	発病年月日	令和 2 年	3 月 1	0 日							
	労務不能と	令和 2 年	3 月 1	0 日から	発病の原因	不詳					
	認めた期間	令和 2 年	3 月 2	8 日まで							
	うち、入院期間	令和 2 年	3 月 1	1 日から	療養費用の種別	□ 国保☑ 公費(感染症)□ 自費□ その他					
医		令和 2 年	3 月 2	8 日まで	転帰	☑治癒 □ 中止 □ 繰越 □ 転医					
医療機関	診療日及び入院 していた日を〇で 囲んでください。	令和 2 年 3 月	1 2 3 -16 17 18	4 5 6 7 8 19 20 21 22 2	9 10 (11)—1	2 13 14 ▶5 診療 実日数 18 日					
担		令和 年 月	1 2 3 16 17 18	4 5 6 7 8 19 20 21 22 2	9 10 11 1	診療 実日数					
当者が意見を記		令和 年 月		4 5 6 7 8 19 20 21 22 2	9 10 11 1	診療 実日数					
を 記	上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)										
入す	新型コロナ感染症の感染の疑いのため、3/11初診。PCR検査 手術年月日 令和 年 月 日 の結果陽性であり、肺炎の症状がみられたため同日から入										
ح	院。2週間程度で症状の改善が見られ、3/28に実施したPCR 検査において陰性となったため退院。										
	症状経過から見て従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見										
	肺炎の症状の改善後も感染拡大防止の観点から、検査が陰性となるまでは入院が必要であったため、入院 期間は労務不能と判断した。										
					令	和 2 年 4 月 10 日					
	上記のとおり相	違ありません。									
	医療機関の所で	左地	◇◇市××町	丁1丁目2番3号							
	医療機関の名称	称 総合病	院								
	医師の氏名	医療 四	9郎	回療	電話番号 34	45-678-9012					